

2004年11月30日
バクスター株式会社

新潟県中越地震に際して、バクスター株式会社の対応について

バクスター株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：フランシスコ カナル）では、新潟県中越地震の発生に際し、以下のような対応を致しました。

【透析製品事業部関連】

在宅での治療を基本とする腹膜透析関連の医薬品、医療機器に関しては、患者様に日々の治療を継続していただけるよう、下記の対応を致しました。

- 1) 体制：地震発生直後より、現地社員および本社危機管理対策チームが活動を開始し、腹膜透析実施施設、患者様への対応、情報収集を致しました。
- 2) 安全確認と被災状況の確認：医療施設はじめ関係各所とも連携を図り、地震発生後3日間で震度5弱以上の被災地にお住まいの患者様全ての安全が確認されました。また、被害状況の確認も行い、被害状況に応じた緊急対策を策定しました。
- 3) 薬剤の配送：地震発生翌日の午後、緊急用の腹膜透析用薬剤が東京より新潟に向けて発送され、緊急に薬剤が必要となった患者様宅に同日夜には到着しました。また、治療に必要な物資が滞りなく患者様に届くよう、薬剤配送車の緊急車両指定取得、配送ルートの確保等を迅速に行い、さらに、避難場所等で治療を続けられる患者様には、避難場所への薬剤の配送を開始しました。
- 4) 医療機器の確保：ライフラインが寸断され、治療に必要な医療機器の電源確保が困難となった状況に対応するため、バックアップ機器を確保し、医療機関および患者様へ配送いたしました。

震源地を中心として、医療機関にも甚大なる被害が及び、治療設備確保が難しい状況の中、腹膜透析の在宅治療であるという特長が活かされ、患者様にはご自宅、避難場所で治療を継続いただけております。

【バイオサイエンス、フェンウォール、 Medikation・デリバリー事業部関連】

被災地のほとんどの地域で荷受が停止したことにともない、迅速に被災地の関係各所と連絡を取りながら、配達日、受取場所の変更等の対応をいたしました。

余震が続く中、バクスター株式会社では、今後も医療機関及び患者様が安心して治療をしていただけますよう、尽力してまいります。

また、バクスター株式会社では、新潟県災害対策本部へ必要物資を確認の上、希望のあったトラック2台分の飲料水、カイロ、食料などの支援物資の提供や、日本製薬団体連合会および日本製薬工業協会の呼びかけに応じて義援金拠出を実施させていただきました。

今回の地震災害により、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

以上